

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大刀洗町	代表者名	町長 中山 哲志
担当者部署	地域振興課電算管理係	連絡先電話番号	0942-77-4247
担当者役職	係長	担当者氏名	小松 純平
住所	830-1224 福岡県大刀洗町大字富多819番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	武城 文明
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	説明が端的でわかりやすかった。今後やるべきことも明確に指導いただいた。事例も交えて教示いただき、実感がわいた。
アドバイザー への要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月4日	13時30分	15時30分	10	110
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	情報システムにおいて、現行ベンダの使用が14年に亘っており、途中の見直しがなされていない。また、情報システムにおける全体コストの把握ができていない。そして、情報化推進計画ができていない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	標準化・共通化された情報システムへの移行を行う。そのために、移行の工程を作成する必要があるため、現行ベンダとの協議、現行システムの費用等の分析、計画の作成を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	情報システムは5年に1度レビューを実施して、見直しを行った方がよいこと。推進体制が必要であり、各課から人を集め、3~5人程度の体制を作った方がよいこと。まずは、(1)契約一覧表を作成すること、(2)現行ベンダからデータ排出費用の見積書を出してもらうことが必要。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	情報システムの標準化・共通化に向けて、何から着手したらよいかわからなかったが、まずは現行システムの分析等から着手していったらいいことが分かった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

